

人工知能もプロジェクションマッピングに参入?!アジア最大の国際祭典が熱い!

アジア唯一のプロジェクションマッピング国際コンペは過去最多となる24の国と地域から75組のクリエイターがエントリー。そこには人工知能も参加表明!



優勝賞金100万円をかけた世界24の国と地域から過去最多の75組が応募

2012年にスタートして以降、この「1minute Projection Mapping」は年々スケールを拡大し、また参加者数も増え続け、国際的なステータスが非常に高まっています。そして本年は過去最多となる**24の国と地域から75組**(昨年度は15の国と地域から42組)ものエントリーが寄せられ、大変な熱を帯びております。今回一際注目を集めそうなのが、昨今囂の対決でも話題になっている「人工知能」の参加です。作品制作、そしてクリエイションの作業で人間と競うということで、一体どんな作品となるのか見逃せません!コンペティションは多数のエントリー作品の中から1次選考で優秀な作品をファイナリストとして選出。その作品を9/16-19の「にいがた☆MINATOPIKA」で一般上映し、最終日の公開審査会で世界一が決まります!

世界初の試み!人工知能(AI)のプロジェクションマッピング制作への参加!

果たして人工知能にプロジェクションマッピングは作れるのか?!

Projection Mapping

人類が産み出した新たな表現領域

×

AI
人工知能

昨今囂の世界チャンピオンに快勝するなど「AI」の名前で世間を賑わせている人工知能ですが、現在クリエイティブな分野にも徐々に進出してこようとしています。クリエイティブなフィールドではレンブラント本人が描いたかのようなAIの絵画が発表され、話題となったことも記憶に新しいです。

今回は人口知能の草分け的な会社とプロジェクションマッピング有識者によるチームが結成され、1クリエイターチームとして国際コンペへ参戦します。人間とコンピュータの領域を巡る論戦に新たな1ページが刻まれそうです。



昨年度のハイライト映像 → 【 <https://youtu.be/eBcC0sw4itg> 】

クリエイターの表現が凝縮された、わずか「1分間」の作品による競演!

審査のポイントは「独創性」「映像クオリティ」「PM表現技術」「テーマ性」「演出構成」
 国内外からの参加者が増え続け、年々作品もハイレベルになってきておりますが、今年は優勝賞金が**100万円**となり、より一層高い表現と技術が求められます。審査員は世界的な視野と知見を持った有識者によって審査されるため、**世界レベルでの表現や時代の捉え方**が必要です。審査は審査員が5つの項目に点数を付け採点され、そこから最終審議を行い、グランプリを決めます。審査する5項目は「**オリジナリティ**」「**映像制作の技術**」「**プロジェクションマッピング表現としての面白さ**」「**テーマへの答え方**」そして「**全体をまとめた演出構成力**」の5項目です。AI含め、今年は何の作品が世界一の栄冠を掴むか?! 要注目です!



会場は建築が美しい「みなとぴあ」

新潟市歴史博物館「みなとぴあ」は西洋デザインの外観をもった美しい建築で、幅64m、高さ20mです。プロジェクションマッピングの対象としてもとても適しております。また信濃川沿いの臨港エリアにあり、開放的な空間では様々な出店も並び、ゆっくり楽しむことができます。

グランプリ賞金は100万円!!

本年度は「**DOOR**」というテーマを用いて、世界中のクリエイターが1分~1分59秒以内の作品を制作し応募します。用意された映像制作用のフォーマットを用いて、世界共通条件で制作し、実際のプロジェクションマッピング上映をして公開審査、グランプリ~3位、その他の賞を決定します。本年度のグランプリには、**100万円**の賞金がPMAJやスポンサー企業から送られるほか、翌年度のゲスト作家として次回開催地への招待と、作品制作がオファーされます。

総合演出、企画・プロデュース



石多 未知行
 (いした みちゆき)
 PMAJ 代表

クリエイティブディレクター、空間演出家、東京芸術大学非常勤講師
 映像を使った空間演出を多数手がけ、プロジェクションマッピング協会を立ち上げるなど、日本のプロジェクションマッピング業界を牽引してきた一人。イギリスを拠点にヨーロッパで活躍していた時期もあり、世界のフェスティバルや国内外のトップクリエイターとの交流も多く、世界を知るクリエイター、ディレクター、そしてプロデューサーとして、世界レベルのクリエイションを日本で育む活動も展開している。

国際コンペの実施概要

企画名: **1 minute projection mapping 2016 in にいがた☆MINATOPIKA**
 開催日: 2016年9月16日(金)~19日(月・祝)の4日間
 プレス、関係者向け試写会: 9/15(木)
 公開審査会、表彰式: 9/19(月・祝)
 開催時間: 18時30分~21時
 会場: 新潟市歴史博物館/みなとぴあ(新潟市中央区柳島町2-10)
 主催: にいがた☆MINATOPIKA 2016 開催実行委員会
 企画: (一財)プロジェクションマッピング協会
 応募作品のテーマ: DOOR
 募集映像の長さ: 1分~1分59秒
 応募期間: エントリー: 7月末日、ファイナリスト発表: 8月末
 上映作品数: コンペ作品10~16、ゲスト作品2~3
 1回の全体上映時間: 約40~45分程度
 ゲスト作家①: Neba Studio(マカオ昨年度グランプリ)
 ゲスト作家②: Bodos ArtWorks(ハンガリー)
 来場者予定: 50,000~70,000人(1日2-3回×4日)



取材のお申し込み、お問い合わせ

一般財団法人プロジェクションマッピング協会
 担当窓口: 事務局(藤井 秀樹)
 TEL: 03-6416-9496
 FAX: 03-6701-2900
 E-mail: info@projection-mapping.jp



*お名前、所属、媒体名などを添えてご一報頂けましたらありがとうございます。

エントリー参加国

	国名	
1	日本 (AIチーム)	31
2	フランス	1
3	スペイン	4
4	コスタリカ	1
5	ハンガリー	2
6	マカオ	1
7	メキシコ	5
8	スロベキア	1
9	インドネシア	5
10	ロシア	1
11	ブラジル	4
12	アメリカ	3
13	ルーマニア	2
14	ポルトガル	2
15	タイ	1
16	クロアチア	1
17	カナダ	1
18	オーストラリア	1
19	イタリア	2
20	ドイツ	2
21	ポーランド	1
22	台湾	1
23	チリ	1
24	インド	1
		75